

令和7年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名 : 柴崎地区産業用地整備事業

基本施策名 : 4-1 企業立地の推進

担当部課名 : 環境経済部 企業立地推進課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳(千円)					過年度繰越分 事業費 (千円)
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
予算額	9	0	0	0	0	9	0
補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-
決算額							
次年度へ繰越							

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

令和6年度に事業撤退の申出があった大日本土木・マーケットトラスト共同企業体と、協定終了に向けた協議を進めていきます。協定終了にあたっては、今後、柴崎地区を活用するにあたって有益となる成果物を有償で継承するための協議を行っていきます。

また、柴崎地区産業用地整備事業者選考委員会に助言をいただきながら、新たな事業者の選考も含め、今後の事業手法について検討していきます。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和7年10月1日

共同企業体と設計書、測量図等の成果物の引渡し方法を含めた協定関係を終了することに関し協議を進めました。今後、協定終了に係る合意書を締結し、成果物の引渡しに係る市の負担額について協議を進めていきます。

柴崎地区産業用地整備事業者選考委員会の助言をいただきながら、事業化から事業終了に至った原因を究明し、報告書としてまとめています。

令和7年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名 : 農産物直売所アンテナショップ跡地活用

基本施策名 : 4-5 交流・関係人口の拡大

担当部課名 : 環境経済部 商業観光課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳(千円)					過年度繰越分 事業費 (千円)
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
予算額	1,422	0	0	0	0	1,422	0
補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-
決算額							
次年度へ繰越							

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

令和7年度に決定した農産物直売所アンテナショップ跡地の活用事業者と早期に協定を締結し、手賀沼観光施設誘導方針に基づく協議を行います。

協議の後、同活用事業者が開発行為等の手続きを行い、この手続きが整い次第、事業用定期借地権設定契約を締結しますが、契約締結までの期間、農産物直売所アンテナショップ跡地の草刈りを実施します。

また、同活用事業者について、選考委員による年次評価を行います。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和7年10月1日

活用事業者は、設計案について、8月20日に景観アドバイザー相談を受けました。

現在は、相談時にあった景観アドバイザーからの意見について活用事業者が確認を行っており、今後、意見の内容を必要に応じて設計に反映し、活用事業者による周辺住民説明を行います。

その後、周辺住民説明の意見も必要に応じて設計に反映させたうえで市と手賀沼観光施設誘導方針に基づく協議を実施し、協定を締結します。

なお、この間の農産物直売所アンテナショップ跡地の維持管理として、9月4日に市で農産物直売所アンテナショップ跡地の草刈りを実施しました。

令和7年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名 : 手賀沼遊歩道の再整備（護岸工事等）

基本施策名 : 4-5 交流・関係人口の拡大

担当部課名 : 都市部 公園緑地課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳(千円)					過年度繰越分 事業費 (千円)
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
予算額	12,287	0	0	0	12,000	287	0
補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-
決算額							
次年度へ繰越							

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

手賀沼親水広場前の約200m区間において、波による護岸の浸食が著しいため、安全な遊歩道を維持できるよう、護岸の修繕工事を令和6年度からの4か年継続事業として実施しており、令和7年度も引き続き工事を進めていきます。

また、経年や根上がりによる劣化が確認された遊歩道の舗装修繕を行います。

護岸修繕工事

工事期間：10月～令和8年3月

舗装修繕工事

工事期間：11月～12月

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和7年10月1日

手賀沼遊歩道における護岸修繕工事（2工区）については、10月入札を予定しており、令和8年3月中旬の完了を目指します。

また、舗装修繕工事については、9月中旬に現地を確認し、11月の工事実施に向けて準備を進めています。

令和7年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名 : 手賀沼・手賀川の活用

基本 施 策 名 : 4-5 交流・関係人口の拡大

担 当 部 課 名 : 企画総務部 企画政策課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳(千円)					過年度繰越分 事業費 (千円)
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
予算額	0	0	0	0	0	0	0
補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-
決算額							
次年度へ繰越							

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

平成29年度に策定したアクションプランに基づき、構成団体間で手賀沼・手賀川に関する情報共有や広域連携事業の調整、関係団体との意見交換を行います。

4月に幹事会、5月に協議会を開催するほか、千葉県を主体とした地域づくり推進事業についてのワーキンググループにおいて、手賀沼・手賀川周辺における「農」を軸とした賑わいづくりに寄与するブランディング推進を検討し、実施に向けて取り組みます。

※「手賀沼・手賀川活用推進協議会」構成団体

千葉県東葛飾地域振興事務所・印旛地域振興事務所・柏土木事務所・印旛土木事務所、柏市・印西市・我孫子市（事務局）・国土交通省利根川下流河川事務所（オブザーバー）

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和7年10月1日

4月24日に幹事会、5月15日に協議会（総会）を開催し、令和7年度地域づくり推進事業についてなどの報告を行いました。また、千葉県地域づくり推進事業として行う「手賀沼・手賀川周辺地域における加工品・地産地消メニュー開発・販売支援業務に係る企画提案」について、7月24日に企画提案選定委員会を経て委託事業者を決定しました。ワーキンググループ会議を9月8日に我孫子市にて開催し、受託者の概要や実施スケジュールを報告しました。今後、協議会ワーキンググループと委託事業者で協議を重ねていきます。